

# 2023年度 北関東地方連合 8.15 集会のお知らせ

猛暑による厳しい毎日が続いていますが、連合諸教会の皆様においては猛暑にも勝る熱心により心を燃やして主の宣教の御用に専心しておられることと存じ感謝の意を表します。

2020年度より2022年度まで北関東地方連合社会委員会における集会は全てzoomミーティングによるリモートにて開催してきましたが、今年(2023年)度は近々の感染防止対策緩和の状況を踏まえ、皆様には従来通り会場に集まっただけで開催する事となりました。気候変動による異常気象が続く昨今ですが、連合諸教会の皆様とご一緒に、講師の講演を通して平和について学び、顔と顔を合わせて共に祈るひと時を過ごせたらと願っています。尚、集会日程、会場については以下の通りです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：2023年8月15日(火) 午後1時半～3時

会場：日本バプテスト浦和キリスト教会(zoom併用 ※ミーティング情報は第二信にて)

講師：大島博幸先生(福島主のあしあと教会牧師)

講演：「福島の現状と教会～放射能汚染の現実に向き合って～」

## 【呼びかけ】

あの「東日本大震災」から12年が経ちました。東北から関東に至る、東日本の太平洋沿岸地域では、津波によって甚大な被害が出ました。特に青森県、岩手県、宮城県、福島県の東北地方では、毎年3月11日だけでなく、毎月11日には津波による行方不明者の捜索が続けられています。そして今もなお、底引き網によって遺骨が発見されるケースが報道されます。「地震と津波」の被害への対応は、津波によって大きな被害が出た場所の公園化、住民の高台移住、スーパー堤防の建設、復興高速道路の整備などによって見える形で行われています。

しかし福島県は、「地震・津波・原発事故」という複合被災地です。そして「原子力非常事態宣言」は、今も発令中です。東京電力福島第一原子力発電所と第二原子力発電所の計10基の原子炉は、「廃炉」が決定しています。ただし第一原発は爆発事故により、今もなお高線量を出し続ける状態にあり、また高線量廃棄物や汚染土、そして汚染水がたまり続けています。その解消の一つは、今夏に予定されている「汚染処理水」の海洋放出です。そしてもう一つ、たまり続ける「汚染土」を減らすために、低線量の汚染土を農業や土木に再利用する実証実験が、所沢市環境調査研究所、つくば市国立環境研究所、新宿御苑で行われることになりました。

福島の現状をお伝えしつつ、放射能汚染の現実を皆さまとご一緒に分かち合い、「教会」が「教会」としてどこに立ち、誰と共に生きるのかをご一緒に考えたいと思います。

福島主のあしあとキリスト教会 大島博幸